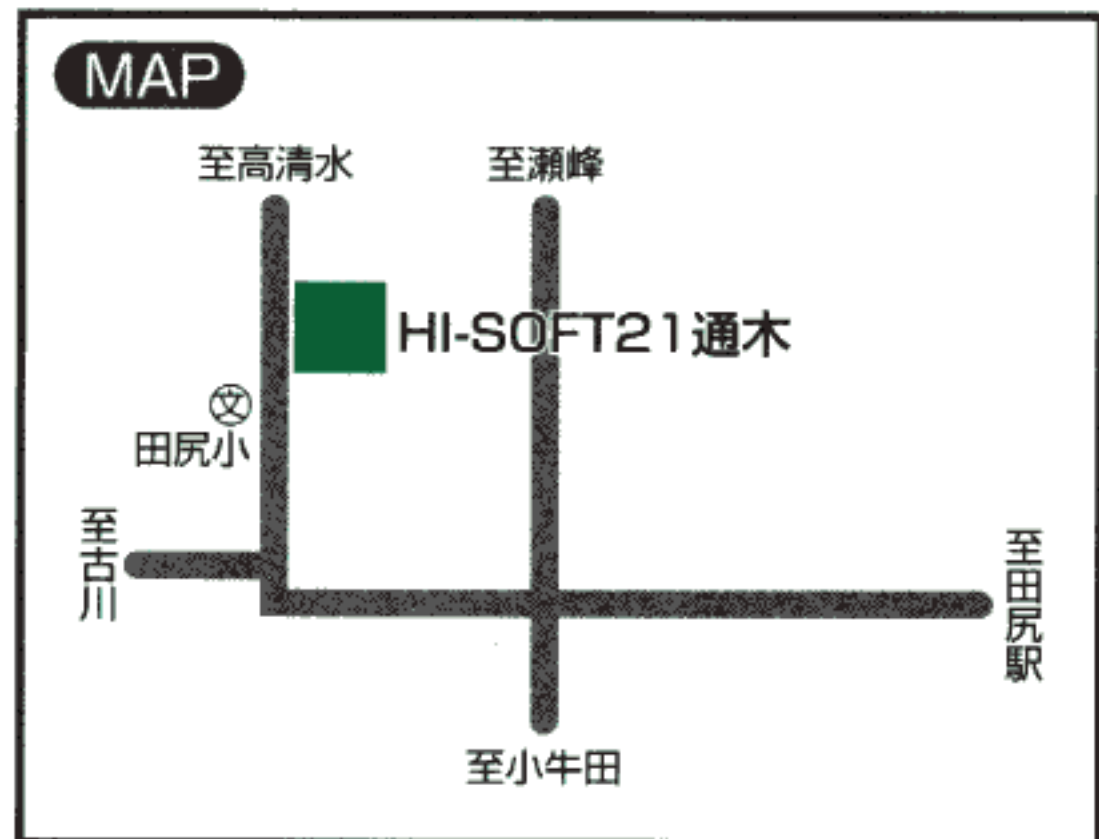


7 田尻町

HI-SOFT21 通木(とおりき)

☎0229-39-7799

住所:宮城県遠田郡田尻町通木字田中前68
FAX:0229-39-7799



[交通・アクセス]
◆JR田尻駅からバスで10分・車で5分

“さなぶり”の楽しみを体験しよう。

私達の集落では、耕畜連携による“資源循環型農業”の構築を目指して、有機資源リサイクルセンターを建設し、良質の堆肥を田畑に施用することにより、元気のある土づくりに取り組んでいます。

メンバー全員が減農薬、減化学肥料栽培を行っており、一部完全無農薬・無化学肥料栽培にも取り組んでいます。それらの田んぼにはいろいろな生き物が見られるようになりました。

米づくりや野菜栽培について、種まきから収穫まで主要作業はほとんど体験できますし、田んぼの中の生き物観察会もできます。

また、遺伝子組み換えやポストハーベストの無い飼料を使った養豚を行い、ハムやウインナー作りの指導も可能です。



代表 山村康治さん

〈さなぶり〉
田植えのあとに豊作を願いながら、ふるまいの宴をひらくこと。
もちつき→5月末頃

●受け入れ体制・時間

- 要予約、10人前後から
- 随時

●諸経費

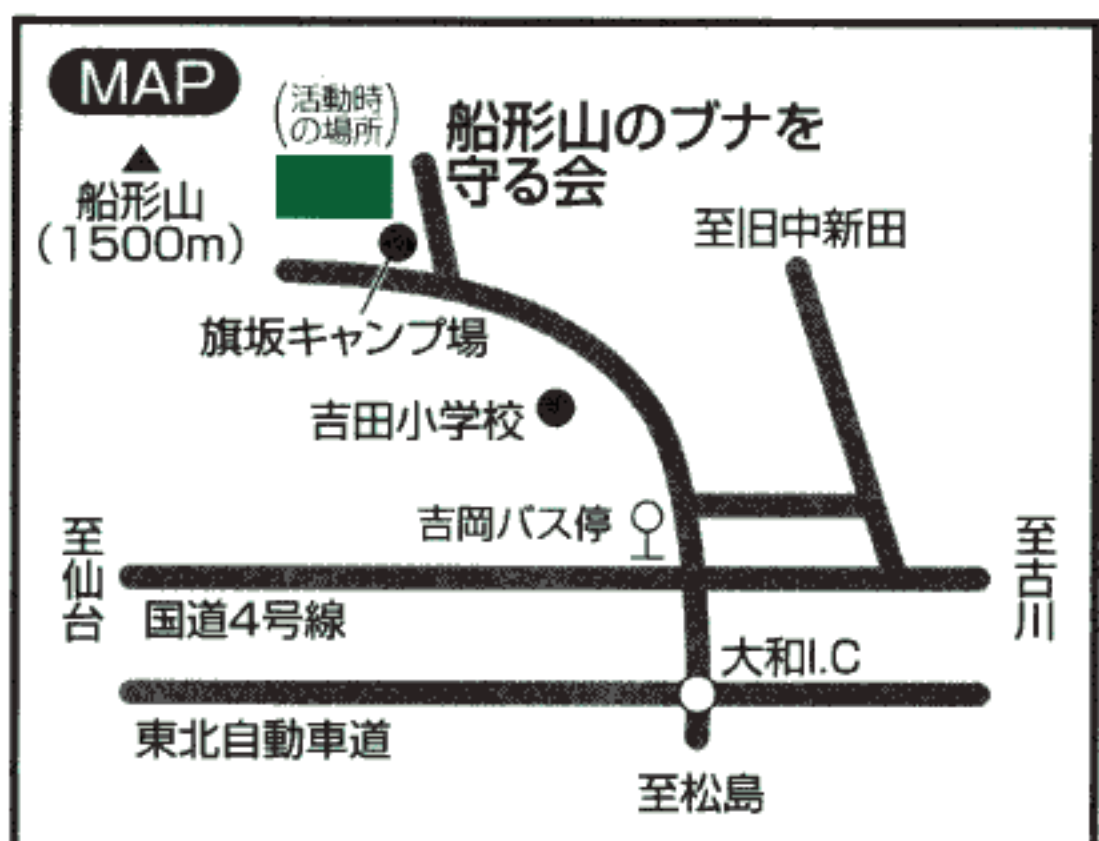
- さなぶり 1人1,000円
秋の収穫祭
- ハム作り 1人500円
その他は要相談。

8 三本木町

船形山のブナを守る会

☎0229-52-3363

住所:宮城県志田郡三本木町新沼字諏訪137
FAX:0229-52-3363



[交通・アクセス]
◆仙台——(宮城交通吉岡行きバス)——吉岡下車——(タクシーで30分)——旗坂キャンプ場。

森の精霊に会いに来ないか。

●ブナの森の観察会

水と命の源であるブナの森に入り、美しい空気と水をいただき、森の恵みで、人間は生かされていることを実感してもらおう。

●国有林内での体験林業

船形山におかれましては、60%以上のブナ林が伐採されてしまいました。それで当会では、森林の再生に向けて、国有林の山仕事をしています。ブナの森の復元の為に笹刈りなどして、ブナ等の生育を助ける作業、また、スギの人工林内の枝打ち、間伐、除伐をして立派な混交林を育てあげる作業



代表 小関俊夫さん

●受け入れ体制・時間

- 会の行事に参加していただくことを原則とします。
- 1人～

●諸経費

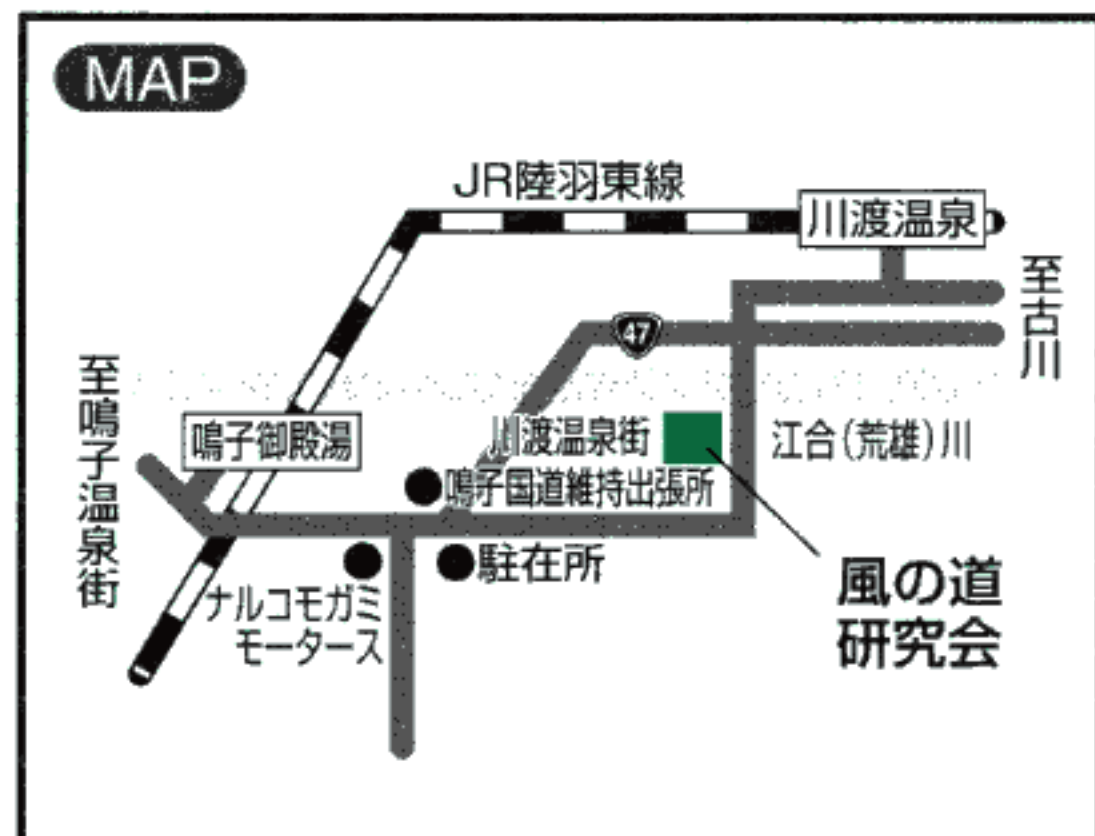
- 行事参加費500円(1人1回)

9 鳴子町

風の道研究会

☎0229-84-7641

住所:宮城県玉造郡鳴子町大口字要害91
FAX:0229-84-7778(宿みやま内)



[交通・アクセス]
◆東京→仙台→古川まで東北新幹線で約138分。
◆古川→川渡は陸羽東線で約50分、車だと約40分。

温泉に入りながら、自然体験を満喫

鳴子温泉郷は環境省が指定している県内では唯一の国民温泉保養地です。川渡から鬼首までの一帯は鳴子峡を始め、白糸の滝、片山地獄、間欠泉など、手つかずの自然が残っていて、その昔、芭蕉も通った旧街道の面影をとどめています。日本にある11種類の泉質の内、9種類までがこの一帯で体験できる温泉の豊富さもあり、「環境保全型自然体験」活動には最適の場所です。

- 「風の道研究会」が目指していること
- 鳴子、川渡の豊富な自然観察体験
鳴子峡の散策、片山地獄、間欠泉、鬼首地熱発電所見学、火山エネルギーを体験学習。
 - きのご栽培と植林
自生山の天然杉と混交林散策



代表「宿みやま」板垣幸寿さん

- 奥の細道散策
尿前の関跡、美豆の小島(平安朝の昔から、景勝の地として知られている)
- ドクター三枝氏による東北大学農学部の大農場で農牧体験
- 火山エネルギー講座
間欠泉、鬼首地熱発電所、熱帯植物園
- 河川環境保護
荒雄川のイワナ、ヤマメ発眼卵放流の体験・キャッチ&リリース

●受け入れ体制・時間

- 要予約
- 春、夏、秋、冬
- 20人まで
- その他はメニューによって相談に応じます。

●諸経費

- 体験メニューにより異なります。ご相談下さい。予算に応じます。

10 若柳町

日本雁を保護する会

☎0228-32-2004

住所:宮城県栗原郡若柳町字川南南町16
FAX:0228-32-3294
URL:www.jgoose.jp/iiss/jawappure.htm
e-mail:son-goose@mva.biglobe.ne.jp



[交通・アクセス]
◆伊豆沼・蕪栗沼までは東北新幹線くりこま高原駅下車、車で10分
◆東北本線新田駅下車、車で5分◆東北自動車道築館ICより車で約15分。

観察会と白鳥の戸籍簿作りも体験

伊豆沼と蕪栗沼をめぐらとするガン類の群れを主な素材とした1泊2日の観察会や体験プログラム

- 1日目午後:水田でのガンやハクチョウの観察
夕方:蕪栗沼でのガンのねぐら入りを体感
夜:勉強会と体験学習
2日目早朝:伊豆沼からのガン類の飛び立ち観察
午前:ハクチョウ戸籍簿作りプログラム(若柳町迫川) / 伊豆沼の水鳥観察
解散
- a) 伊豆沼や蕪栗沼から日の出と共に一斉に飛び立つガンの群れを体感する。
 - b) 日中水田で採食するガンの群れ及び、水鳥と農業の共生をめざす冬期湛水



代表 呉地正行さん

- 水田とそこに生息する水鳥の観察
- c) 夕方に、蕪栗沼や伊豆沼へもどる、ガンの群れのねぐら入りの観察
- d) 夜間の伊豆沼セミナー: 宿泊所の研修室で、伊豆沼、蕪栗沼、そこに渡ってくるガン、ハクチョウ類についての話と、体験学習プログラム
- e) ハクチョウの観察と戸籍簿作りプログラム(若柳町迫川)

●受け入れ体制・時間

- 11月~2月の1泊2日
- 諸経費
●宿泊費、マイクロバス、講師料は要相談
●宿泊に関してはウェットランド交流館、伊豆沼交流センターを利用すると便利。